巻頭言

ニューヨーク補習授業校

校長　片山　隆

補習校作文コンクールも今年で三十回という節目を迎えることとなりました。始まって三十年がたつと考えると、その年その年の世相を反映したものが、子どもたちの視点で綴られてきたことに、重さを感じています。

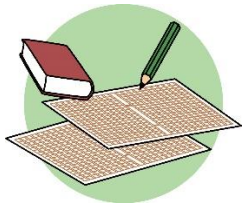
また、今年は「新型コロナウイルス」により、全世界が大きな影響を受けました。マスク、ソーシャルディスタンスなど生活様式が大きく変わり、「ニューノーマル」という言葉さえ出てきました。

そのような世相を、今の補習校の子どもたちはどう受け止めているのか、初等部の五年生以上、中高等部の生徒たちに、「新型コロナウイルス」をテーマに設定して、作文を書いてもらいました。

独自の視点から書かれた作文は、大人の私たちも考えさせられ、励まされる内容となりました。

また、初等部一年から四年生までの作文も、生活を見つめる鋭い観察力と表現力に富んでいて、一読の価値がある力作ばかりです。ごゆっくりお読みください。

最後になりましたが、今回もパナソニックノースアメリカ様には、協賛をいただいたことに、感謝申し上げ、巻頭の言葉といたします。



作文コンクール　最優秀作品解説

マスクが分断する二つの世界

豊田　夏稀（高等部二年）

これまで当たり前と思っていた世界が、大きく変貌を遂げた。マスクやアジア人としての自分、人間としての生き方、ウイルスとの共存も含めた視点が、読み手を引き込んでいく。

歴史と日常生活

佐々木　星乃（高等部二年）

歴史は繰り返されるとよく聞く。今年の世界の大きな変化も、歴史的には起こっており、人間はそれを乗り越えてきているという事実から、自分を奮い立たせ成長を志す態度に共感できる。

時間という宝石と日常という灯

井澤　幸平（高等部一年）

人々は、なくして初めてそのありがたさを知ることがある。今回、時間も日常も自分のこととして考え、たどり着いた答えが、成長につながるものと期待している。

子供ができること

ベンソン　アレックス（中等部二年）

世界中が混乱し、誰もが解決策を期待している中、自分たちにできる三つのことを提案しながら、大人も子供も一緒に解決策を探る興味深い内容で書かれた意欲作である。

変化を必要としている世界と私

是永　真凛（中等部三年）

混乱の中で浮き彫りになった人種差別、アジア人という自分の経験も踏まえ、困難をプラスに変えていこうとする強い意志が感じられる、読み応えのある作文である。

ロックダウンの中で

井手　諒（中等部二年）

慌ただしかった日々が突然変わり、これまでの時間の認識、生活の在り方をはじめ、自分を見つめなおすことを通して、人間としての成長を感じた自己変容がリアルに綴られている。

地球からのメッセージ

槇原　尚紀（中等部一年）

自分が頑張っていたことや、楽しみにしていたことが全て奪われた心境。反面、そのおかげで新たな生き方を見つけた思いを、自分の言葉で素直に表現しているところが共感できる。

自粛生活

ベンソン　明斗（初等部六年）

当たり前だった日常が大きく変わり、自粛生活へと余儀なくされた。デメリットだけだった生活の中から、メリットが見えてくる。考え方を変えることで、変容した自分に出会えたのである。

ありがとうの気持ちを忘れないで

水野　光（初等部六年）

不便な生活を強いられ、みんな不満が多い状況の中で、心が洗われる気がした。忘れてはいけない。多くの人の支えがあって、今があることを、この作文で思い出すことができた。

新型コロナウイルス感染症について

酒巻　祐（初等部五年）

感染予防としてのマスクを呼びかけるストレートな思いが伝わってくる。自分なりに分析し、自信の行動を振り返ることを通して、周りへの警鐘を鳴らしている。

コロナが与えた新しい命

安立　宙陽（初等部五年）

暗い話題が多い中で、この題名に惹かれる思いがあった。新しい命を種から育て、収穫する喜びが、新鮮に伝わってくる。与えられる命と奪われる命。どちらも尊い命に変わりはない。

オクラ先生

川上　聖苗（初等部四年）

植物を育てる中で、自分の知識がどんどん増えていく楽しさが伝わってくる。それを「オクラ先生」と擬人化して、ユニークな体験談として書かれており、ほっとする作文である。

大切な運動

森島　蘭（初等部四年）

ラジオ体操第三体操。運動不足解消に私も教えてもらいたい。ラジオ体操を通して、日本とアメリカ、そして祖父をはじめ、人との温かいつながりが見えてくる。

初めてのキャンプ

村上　誠悟（初等部三年）

初めて体験した出来事が、例えの表現を巧みに使い、状況をリアルに表現できている。へとへとになって歩いた後の、バーベキューは最高だろう。「いただきます。」で余韻が残る。

丸がめ

ヒューイ　新奈（初等部三年）

何とおいしそうな作文だろう。作者の「ぶっかけうどん」への愛がぎっしり詰まっている。この作文を読んだら、誰もがぶっかけうどんを食べたくなるだろう。私も当然食べた。

ほたるを見た

服部　優珠和（初等部二年）

蛍を見つけた感激が、会話文と細かな表現で、随所から伝わってくる。きっと蛍が見られたのは、習い事をしっかり練習した後の、ご褒美だったのだろう。

マスク

森戸　沙耶（初等部二年）

マスクへの素直な気持ちが、二年生の表現で綴られている。予防とファッション性を兼ね備えたお気に入りのマスクを身に付け、この困難な生活を乗り越えていってほしい。

じてんしゃにのれない

福田　昭優（初等部一年）

こんなに可愛らしく愛らしい作文は読んだことがない。読むと誰もが思わず応援したくなるであろう。もう乗れるようになったのだろうか。私も心の中でずっと応援している。

かえるのゆかりちゃん

仲井　里央子（初等部一年）

大好きだからこそ、よく観察して、表現できていることが伝わってくる。ゆかりちゃんのお世話をしながら、きっと楽しい会話をしていることであろう。ゆかりちゃんもきっと喜んでいるよ。



【目　　次】

第三十回　作文コンクール　入選作品

：最優秀賞：

◇マスクが分断する二つの世界（Ｐ１）
　Ｌ－校　高等部二年　豊田　夏稀

◇歴史と日常生活（Ｐ２）
　Ｗ校　高等部二年　佐々木　星乃

◇時間という宝石と日常という灯（Ｐ３）
　Ｗ校　高等部一年　井澤　幸平

◇子供ができること（Ｐ４）
　Ｌ－校中等部三年　ベンソン　アレックス

◇変化を必要としている世界と私（Ｐ６）
　Ｗ校　中等部三年　是永　真凛

◇ロックダウンの中で（Ｐ８）
　Ｗ校　中等部二年　井手　諒

◇地球からのメッセージ（Ｐ９）
　Ｌ－校　中等部一年　槇原　尚紀

◇自粛生活（Ｐ１０）
　Ｌ－校　初等部六年　ベンソン　明斗

◇ありがとうの気持ちを忘れないで（Ｐ１１）
　Ｗ校　初等部六年　水野　光

◇新型コロナウイルス感染症について（Ｐ１２）
　Ｌ－校　初等部五年　酒巻　祐

◇コロナが与えた新しい命（Ｐ１３）
　Ｗ校　初等部五年　安立　宙陽

◇オクラ先生（Ｐ９）
　Ｌ－校　初等部四年　川上　聖苗

◇大切な運動（Ｐ１０）
　Ｗ校　初等部四年　森島　蘭

◇初めてのキャンプ（Ｐ１１）
　Ｌ－校　初等部三年　村上　誠悟

◇丸がめ（Ｐ１２）
　Ｗ校　初等部三年　ヒューイ　新奈

◇ほたるを見た（Ｐ１３）
　Ｌ－校　初等部二年　服部　優珠和

◇マスク（Ｐ１０）
　Ｗ校　初等部二年　森戸　沙耶

◇じてんしゃにのれない（Ｐ１１）
　Ｌ－校　初等部一年　福田　昭優

◇かえるのゆかりちゃん（Ｐ１２）
　Ｗ校　初等部一年　仲井　里央子

：優秀賞：

◇夜空に煌めく希望の星（Ｐ１５）
　Ｌ－校　高等部二年　武井　蓮乃

◇新型コロナビフォー＆アフター（Ｐ１６）
　Ｌ－校　高等部一年　山口　浩

◇コロナ禍の宿題（Ｐ１５）
　Ｌ－校　中等部三年　延原　伶

◇現代社会における
　インターネットの重要性（Ｐ１７）
　Ｌ－校　中等部二年　上村　百合愛

◇「隔離」に学ぶ（Ｐ１８）
　Ｗ校　中等部二年　押川　正太郎

◇新型コロナウイルス（Ｐ１９）
　Ｗ校　中等部一年　阿知波　颯

◇長者小学校六年生のみなさんへ（Ｐ２０）
　Ｌ－校　初等部六年　クラーク　将人

◇灯台下暗し（Ｐ２１）
　Ｗ校　初等部六年　村上　慧

◇私とコロナ（Ｐ２２）
　Ｗ校　初等部六年　森島　凛

◇君が教えてくれたこと（Ｐ２３）
　Ｌ－校　初等部五年　金　太悟

◇新型コロナウイルス（Ｐ２４）
　Ｗ校　初等部五年　中本　有誠

◇もとにもどりたい（Ｐ２５）
　Ｌ－校　初等部四年　鹿島　花

◇ゴルフで勝つ（Ｐ26）
Ｗ校 初等部四年 新木 力一斗
◇ふしぎなおにわ（Ｐ28）
Ｌ－校 初等部三年 梅原 雅美
◇うちゅうについて（Ｐ29）
Ｗ校 初等部三年 安田 明里
◇今年の夏休み（Ｐ30）
Ｗ校 初等部三年 長谷 亜果沙
◇ぼくと漢字（Ｐ31）
Ｌ－校初等部二年 リー アレクサンダー
◇わたしのお父さん（Ｐ32）
Ｗ校 初等部二年 石川 桜
◇わたしの妹（Ｐ33）
Ｗ校 初等部二年 辻村 英怜奈
◇わたしのかわいい犬たち（Ｐ31）
Ｌ－校 初等部一年 ラモス 依麻
◇どこでもドアがほしいな（Ｐ32）
Ｗ校 初等部一年 パテル 杉浦 有愛
◇ピザのひ（Ｐ33）
Ｗ校 初等部一年 池田 琉愛
：入選：
◇日常と化した非日常（Ｐ35）
Ｗ校 高等部二年 宮崎 真弥
◇新型コロナウイルスに見られる
人種的格差（Ｐ36）
Ｌ－校 中等部三年 宇田川 ネリー 雪
◇コロナウイルスと私（Ｐ37）
Ｗ校 中等部三年 渡邉 慧
◇コロナウイルスと僕（Ｐ38）
Ｗ校 中等部三年 渡邉 喜
◇コロナと私の新高校生活（Ｐ39）
Ｌ－校 中等部二年 政岡 里奈
◇二千二十年の夏（Ｐ41）
Ｗ校 中等部一年 長谷 杏吏
◇コロナウイルスで変わる私の生活（Ｐ42）
Ｌ－校 初等部六年 ゾン さくら
◇砂時計（Ｐ43）
Ｌ－校 初等部六年 マ 沙良
◇マスクと自転車（Ｐ44）
Ｗ校 初等部六年 ロドリッツ 亜論
◇オンラインの学校生活（Ｐ45）
Ｗ校 初等部五年 太田 実奈
◇コロナウイルスの対処法と
生活の違い（Ｐ46）
Ｗ校 初等部五年 松澤 歩睦
◇あつ森（Ｐ47）
Ｌ－校 初等部四年 ベンソン 澪
◇私がしている事（Ｐ49）
Ｗ校 初等部四年 内田 莉乃
◇夏の夜空（Ｐ50）
Ｗ校 初等部四年 中田 澪
◇楽しいハンモック（Ｐ50）
Ｌ－校 初等三年 山口 大成
◇学校に行きたい！（Ｐ51）
Ｌ－校 初等部三年 ダベンポート 莉理愛
◇今やりたいこと（Ｐ52）
Ｗ校 初等部三年 萩原 彰啓
◇まい子になった妹（Ｐ54）
Ｗ校 初等部三年 瀬来 真弥
◇地球を守ろう（Ｐ54）
Ｗ校 初等部三年 滝見 謙一
◇とんぼ（Ｐ55）
Ｗ校 初等部三年 木田 雄斗
◇家族はいっしょ（Ｐ56）
Ｗ校 初等部三年 吉田 莉菜
◇わたしの家族（Ｐ57）
Ｗ校 初等部二年 三輪 紗月
◇日本の小学校（Ｐ58）
Ｗ校 初等部二年 村井 美咲

◇電気の大切さ（Ｐ59）
Ｗ校　初等部二年　梅本　琴葉
◇いつもはしるぼく（Ｐ61）
Ｗ校　初等部二年　岡野　至
◇台風（Ｐ62）
Ｗ校　初等部二年　岩崎　悠樹
◇キャンプにいったこと（Ｐ63）
Ｌ－校　初等部一年　村上　佳穂
◇スクーター（Ｐ64）
Ｌ－校　初等部一年　福岡　万里子
◇ナイアガラのたき（Ｐ65）
Ｗ校　初等部一年　立石　新奈
◇おおきくなったら（Ｐ75）
Ｗ校　初等部一年　浅野　友恵
◇ぼくのにわ（Ｐ76）
Ｗ校　初等部一年　真鍋　和也
◇ぼくのなつやすみ（Ｐ77）
Ｗ校　初等部一年　平戸　輪惺
◇かつやくしたよ一がっき（Ｐ78）
Ｗ校　初等部一年　新田　竣

